

資料

丸亀市生涯学習推進計画に関する市民アンケート調査結果

■ 調査目的

前回のアンケートから5年が経過し、生涯学習に関する意識や考え方、また、学習経験や学習希望の動向を調査し、次期丸亀市生涯学習計画の素案策定の参考資料とする。

■ 調査対象

令和3年6月1日現在、丸亀市内に在住している18歳以上の方から無作為に3,000人を抽出。

■ 調査方法

対象者あてに調査票を郵送し、記入・返送を依頼。

■ 調査期間

令和3年6月22日～7月16日

■ 回収状況

回収総数(率) 1,000人 (33.3%)

■ 調査の公表

丸亀市ホームページにアンケート結果の概要を公表する。

■ 報告書の見方

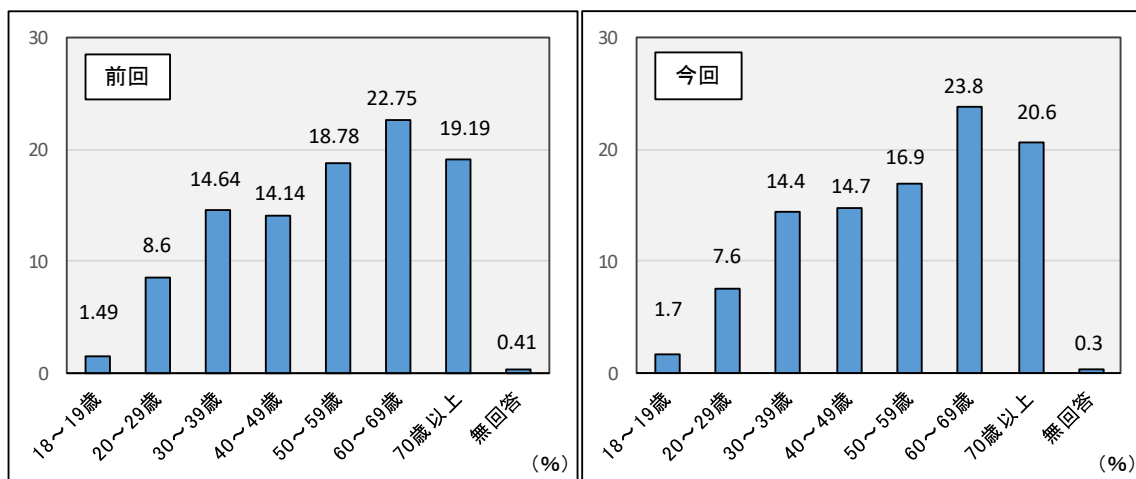
- (1) 回答率(%)は、その質問の回答数を基数 (N=Number of Caseの略) として算出し、小数点以下第2位を四捨五入とする。したがって、比率の数値の合計が100.0%丁度にならない場合がある。
- (2) 複数回答の設問は、すべての比率を合計すると100.0%を超えることがある。

あなた自身のことについておたずねします。

問1. あなたの年齢を教えてください。(有効回答者数:1,000人)

- | | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| 1 18～19歳 | 2 20～29歳 | 3 30～39歳 | 4 40～49歳 |
| 5 50～59歳 | 6 60～69歳 | 7 70歳以上 | |

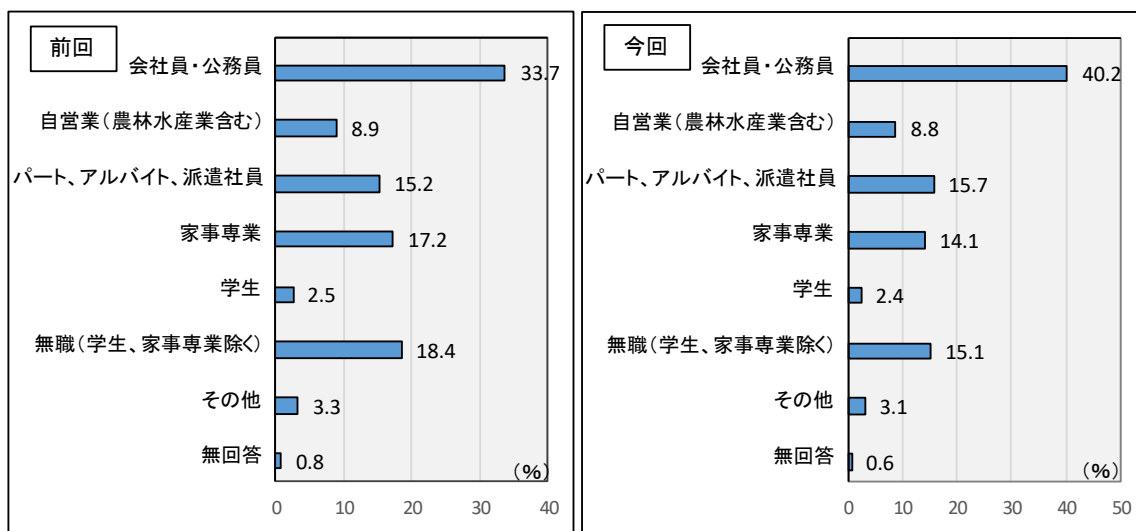
回答者年齢割合



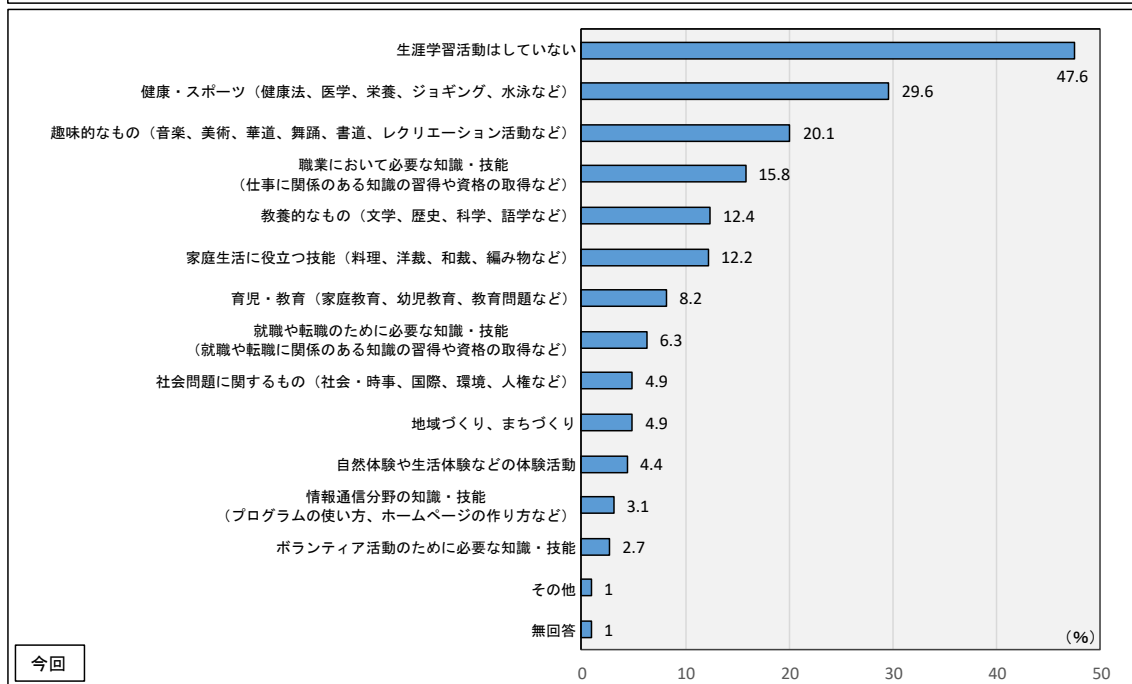
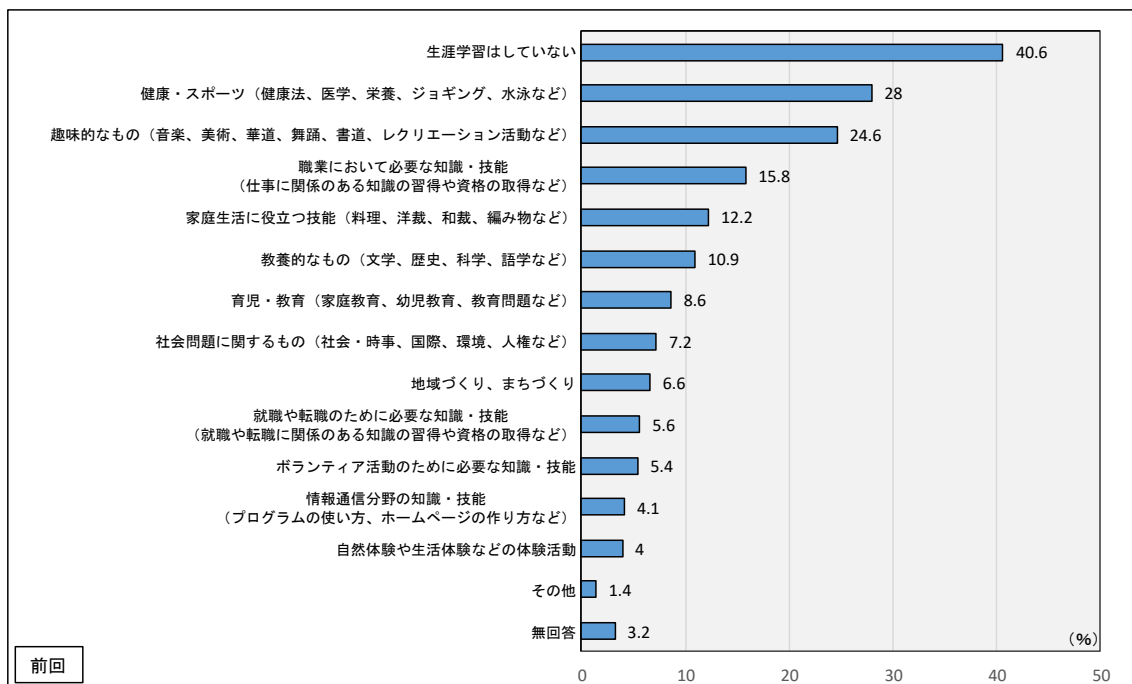
問2. あなたのご職業を教えてください。(有効回答者数:1,000人)

- | | | |
|-----------|----------------|------------------|
| 1 会社員、公務員 | 2 自営業（農林水産業含む） | 3 パート、アルバイト、派遣社員 |
| 4 家事専業 | 5 学生 | 6 無職（学生、家事専業を除く） |
| 7 その他 | | |

回答者職業別割合



問3. あなたは、この1年間に生涯学習活動をしましたか。当てはまるすべてに○をつけてください。(有効回答者数:1,000人)

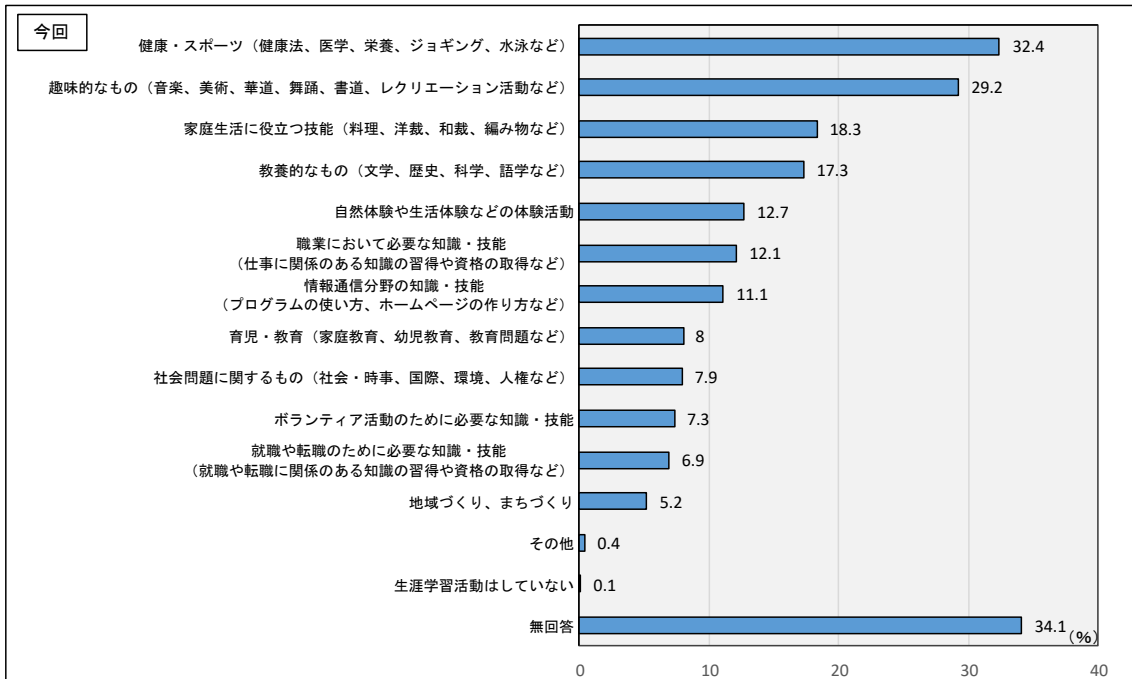
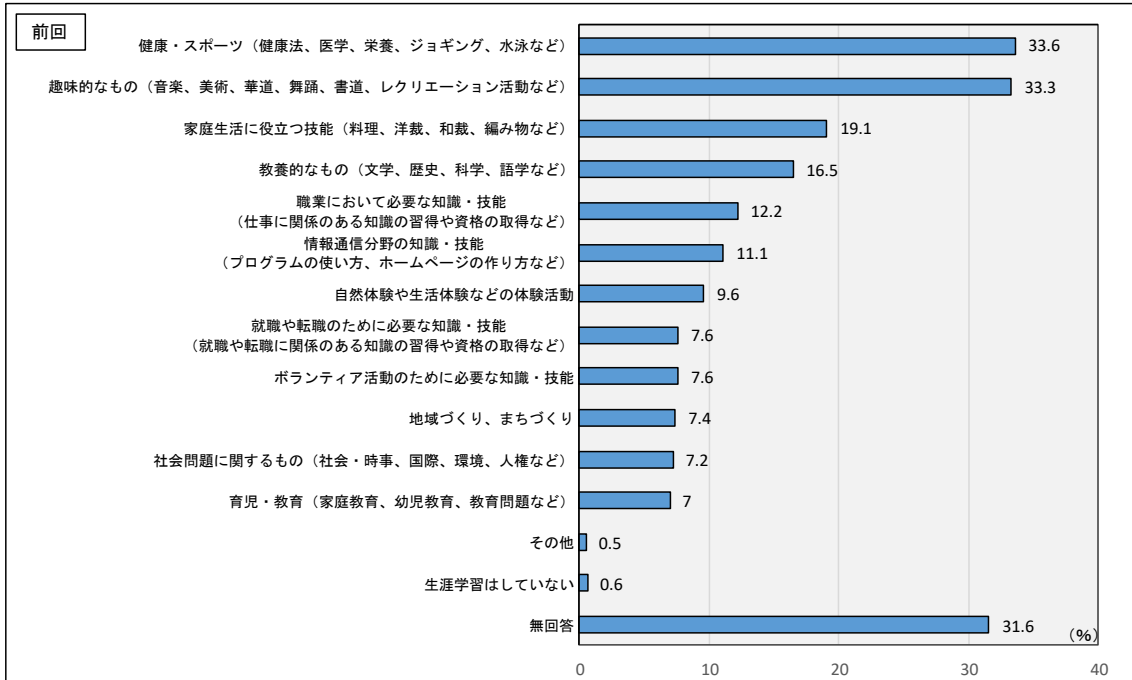


【現状】
 ・今回の調査では、「生涯学習活動はしていない」が前回調査より7%増加している。(40.6%から47.6%に増加している。)
 ・上位2項目(健康・スポーツ、趣味的なもの)については、前回の調査と同様な結果となっており、市民の高い関心が伺える。

【課題】
 ・「生涯学習活動はしていない」が増加した原因として、新型コロナウイルス感染症対策による施設の休館や活動を控えている影響があるものと思われる。オンラインを活用した生涯学習の実施など、開催方法の工夫が必要である。

問4. また、今後学習したい内容(継続を含む)を上記から3つまで選んで番号をご記入ください。※学習したい内容がなければ無記入でもかまいません。

(有効回答者数:1,000人)



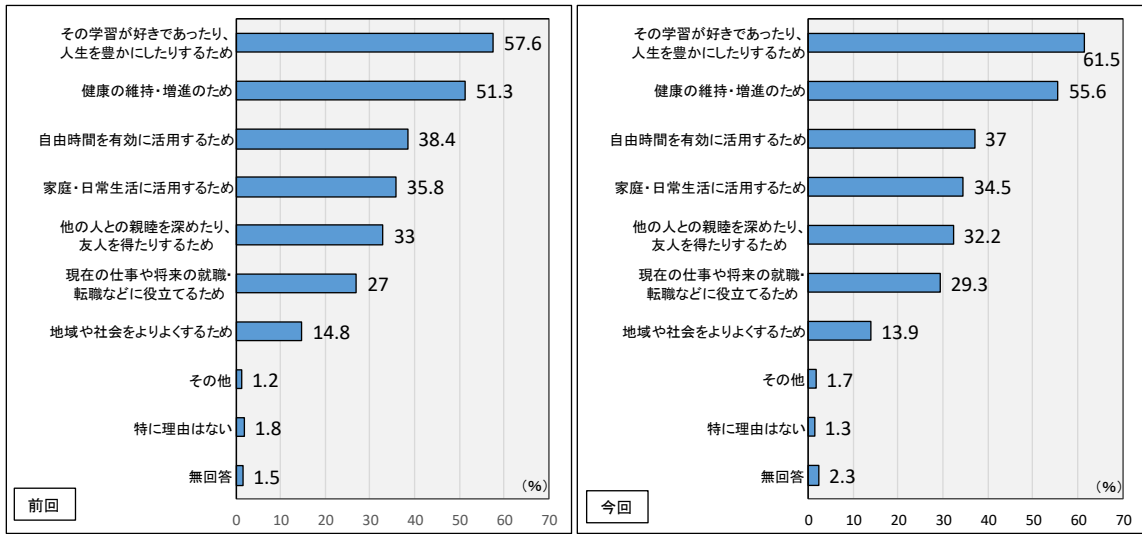
【現状】

- ・上位2項目については、前回の調査や問3と同様、健康・スポーツ、趣味に関する学習意欲が、高い値を示している。
- ・上位2項目以外についても、5.2%~18.3%の結果となっており、学習意欲の多様化が伺える。特に自然体験や生活体験活動の割合が増加しており、体験型の学習ニーズが高まっている。

【課題】

- ・市民の学習意欲が多様化しているため、講座の終了後にアンケート等を実施するなど、ニーズの高い講座の開設や、新しい講師の開拓などが必要である。

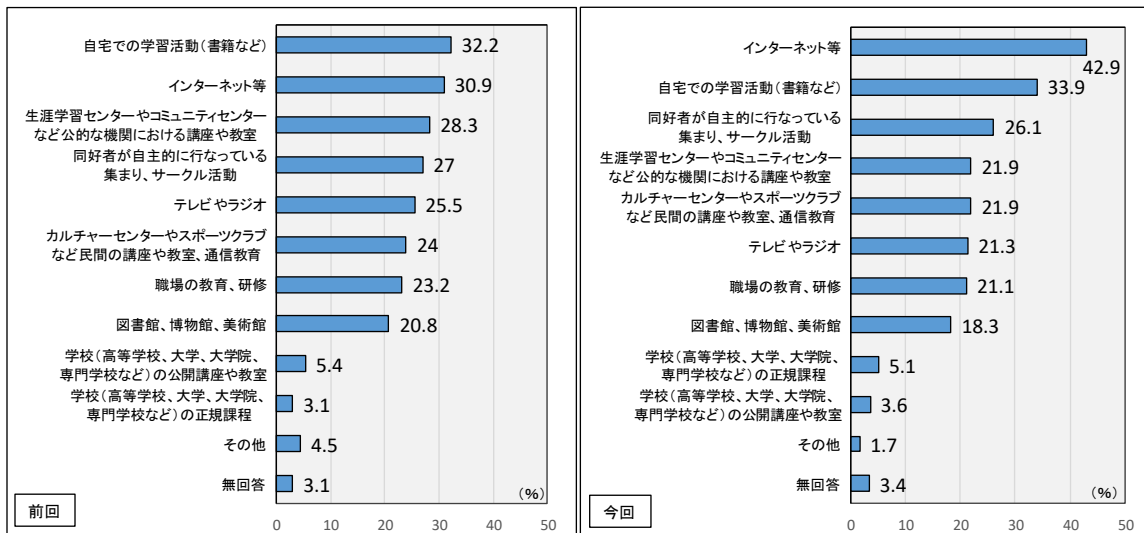
問5. 問3で「1～13」と答えた方におたずねします。あなたが学ぶ目的は何ですか。当てはまるすべてに○をつけてください。(問3で「1～13」と答えた者:525人)



【現状】
 ・前回の調査と割合は異なるものの、目的の高い順番は同様であった。自らの生活を豊かなものにするを目的に学んでいる傾向が伺える。

【課題】
 ・今後地域づくりや仲間づくりに繋がる活動が重要になってくるため、地域課題を解決するための講座等を提供する必要がある。

問6. 問3で「1～13」と答えた方におたずねします。あなたは、どのような機会を利用して学んでいますか。当てはまるすべてに○をつけてください。(問3で「1～13」と答えた者:525人)

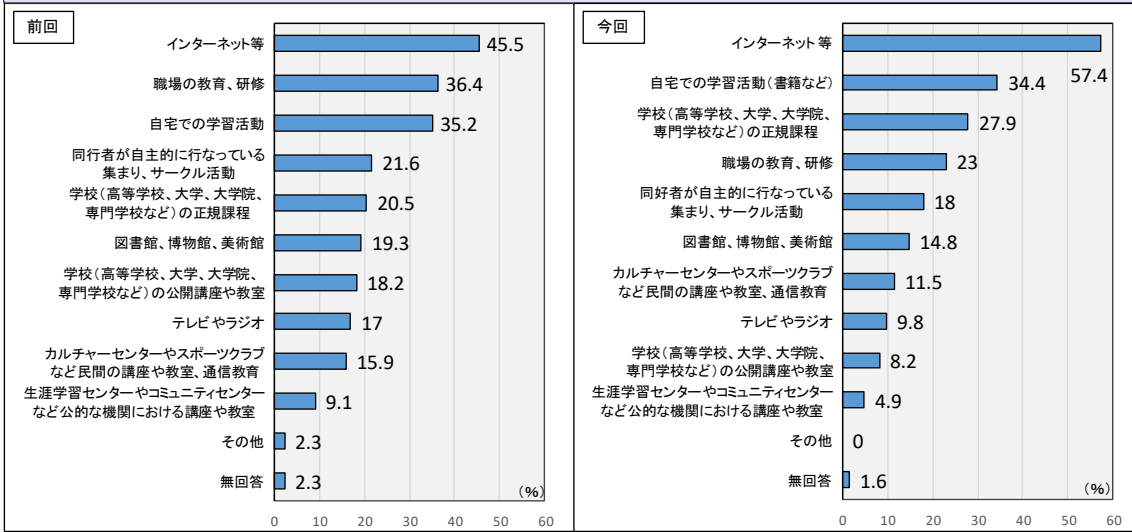


【現状】
 ・前回の調査と比べて、インターネットの利用が30.9%から42.9%へ大幅に増加している。それに伴い、テレビ・ラジオの利用が25.5%から21.3%に減少している。

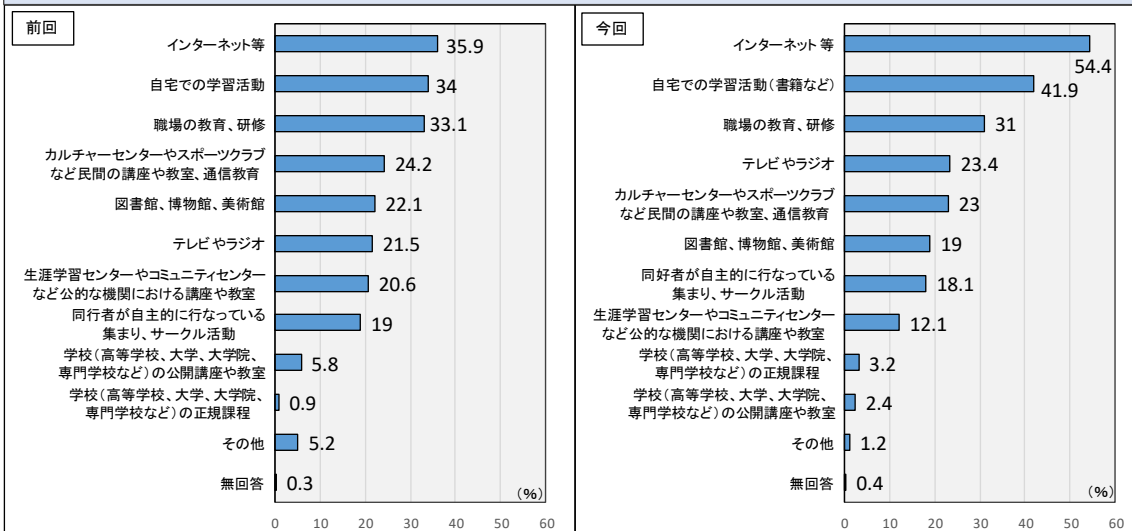
【課題】
 ・学びの多様化を意識しながら、インターネットを活用した学びの機会の提供を進めていく必要がある。

年代別 利用機会

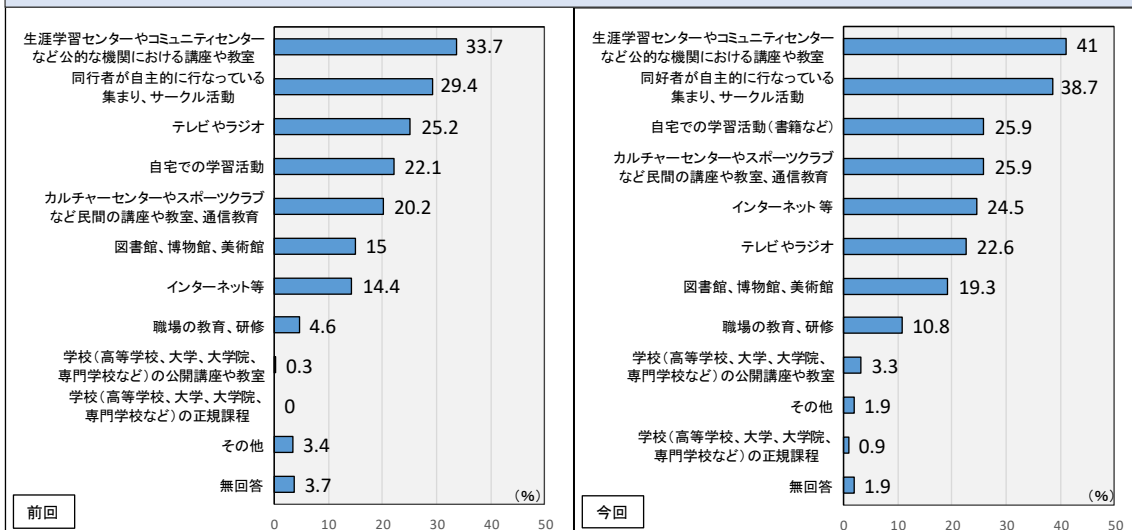
18～20歳代



30～50歳代



60～70歳以上



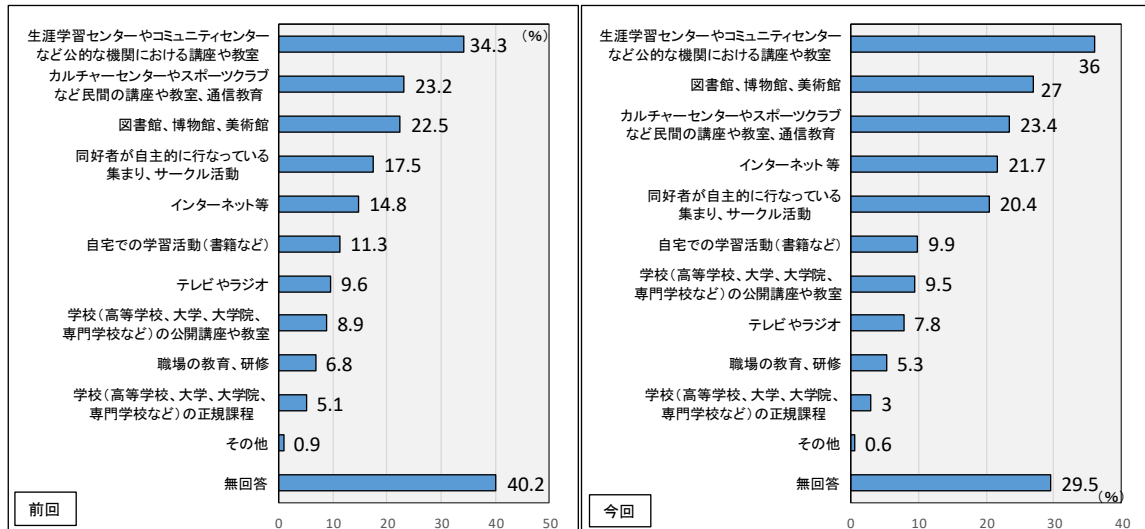
【現状】

・50歳代までは、インターネットを利用して学習しているが、60歳代以上については、公的な機関における講座や教室を利用している学習機会が多いという傾向が伺える。

【課題】

・コロナ禍における生涯学習推進の方法として、インターネット等を利用した学習方法が増えてくることが予想されることから、特に60歳以上の方のインターネット等の利用促進が課題である。

問7. 問3で「1～13」と答えた方におたずねします。今後、利用したい機会を上記の中から3つまで選んで番号をご記入ください。※利用したい機会がなければ無記入でもかまいません。(有効回答者数:525人)



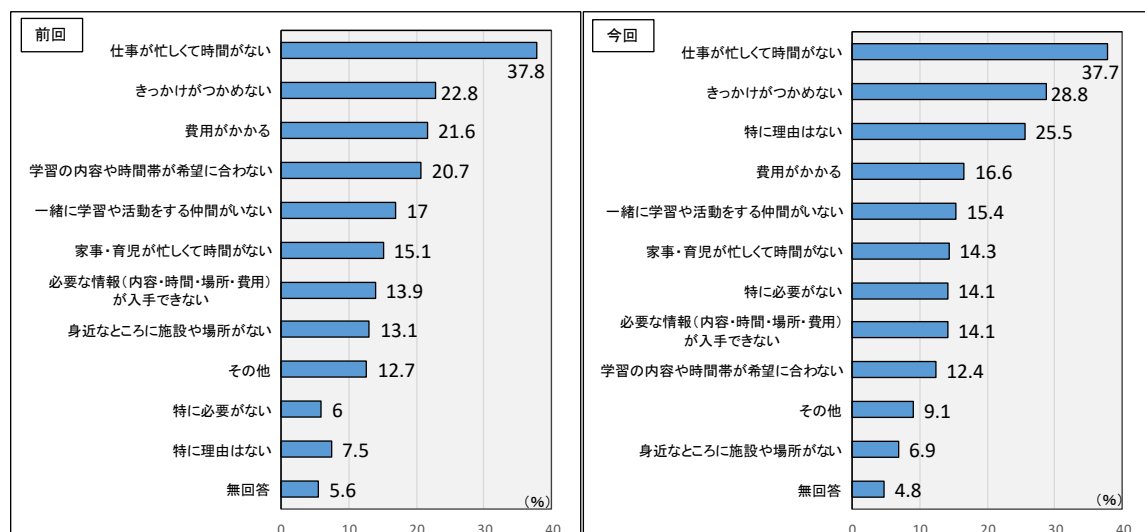
【現状】

・前回の調査と比較して、学習機会に「インターネット等」を利用している割合が増加しているものの、公的な機関における講座や教室、サークル活動の割合が高い。

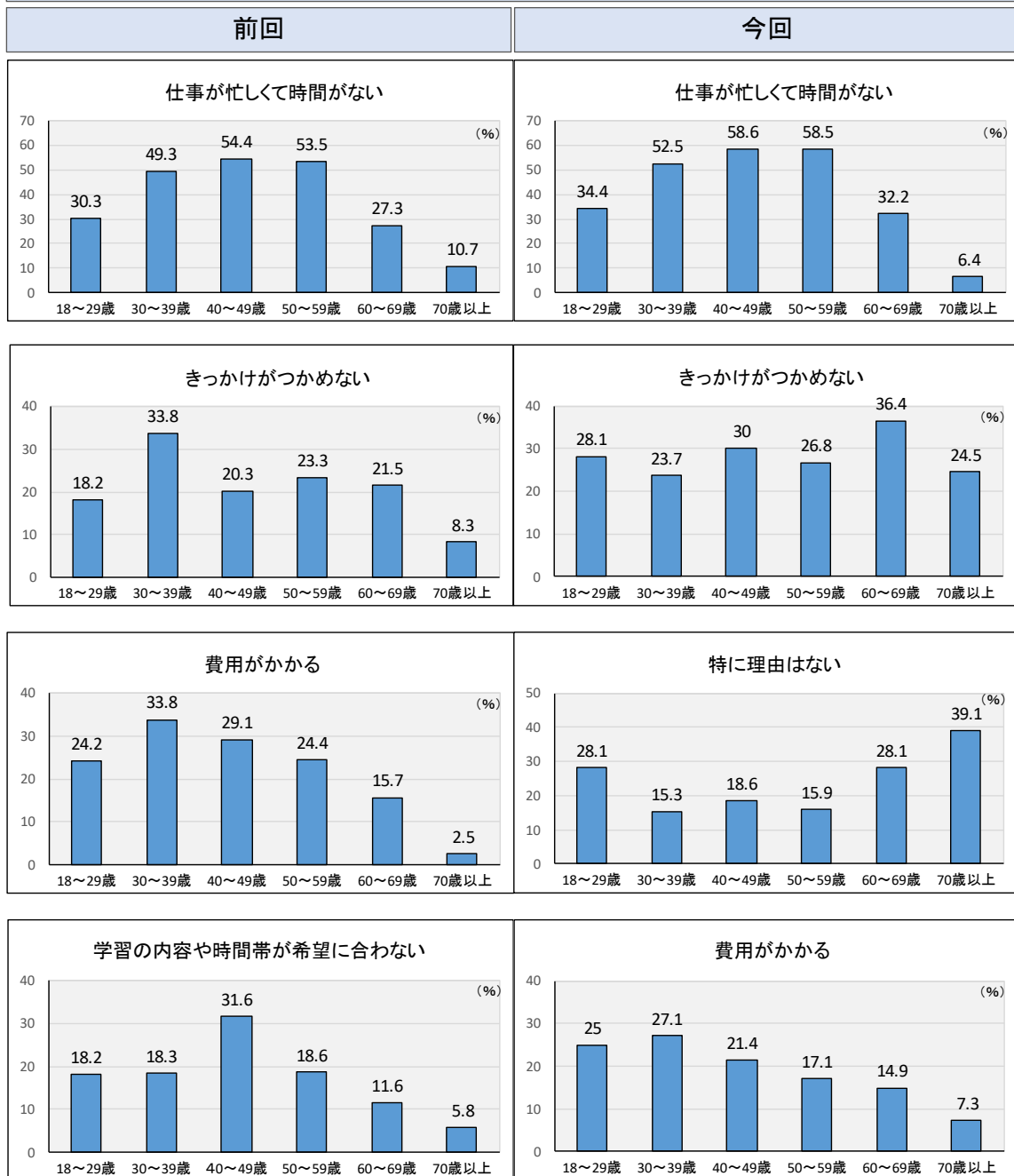
【課題】

・コロナ禍における生涯学習推進の方法として、インターネット等を利用した学習方法のニーズが高まってくることが予想されることから、講座や教室、サークル活動と共に、インターネット等を利用した学習機会を増やしていくことが必要である。

問8. 問3で「14」と答えた方におたずねします。あなたが生涯学習を行っていない理由は何ですか。当てはまるすべてに○をつけてください。(有効回答者数:475人)



年代別 上位4項目の回答率



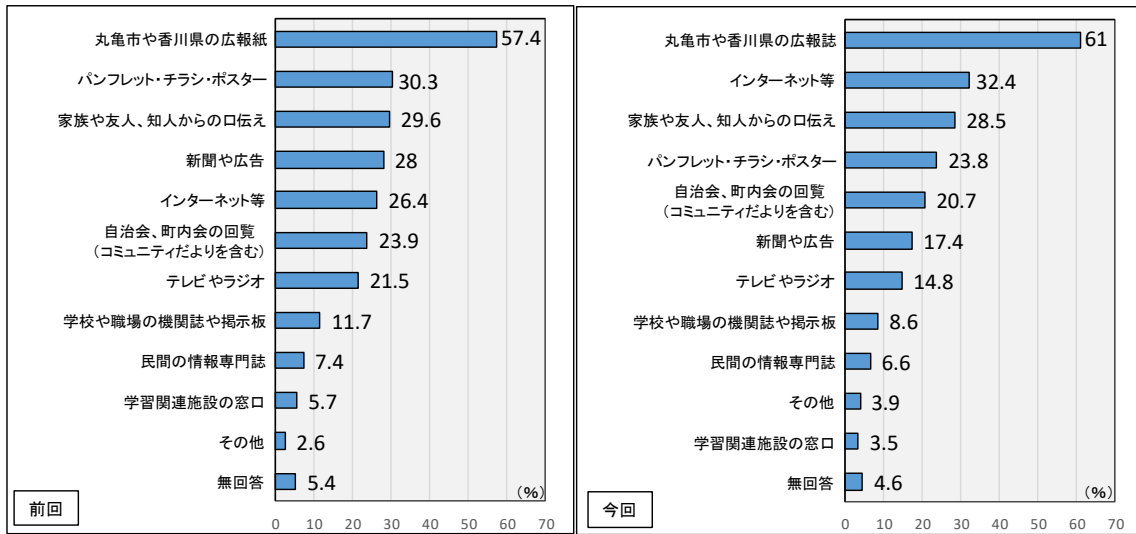
【現状】

・前回の調査と比較して、割合は異なるものの、30~50歳代において「仕事が忙しくて時間がない」理由が多く見られ、60歳代において「きっかけがつかめない」理由が多く見られた。60歳代以上について、「きっかけがつかめない」、「特に理由はない」が大幅に増加している。

【課題】

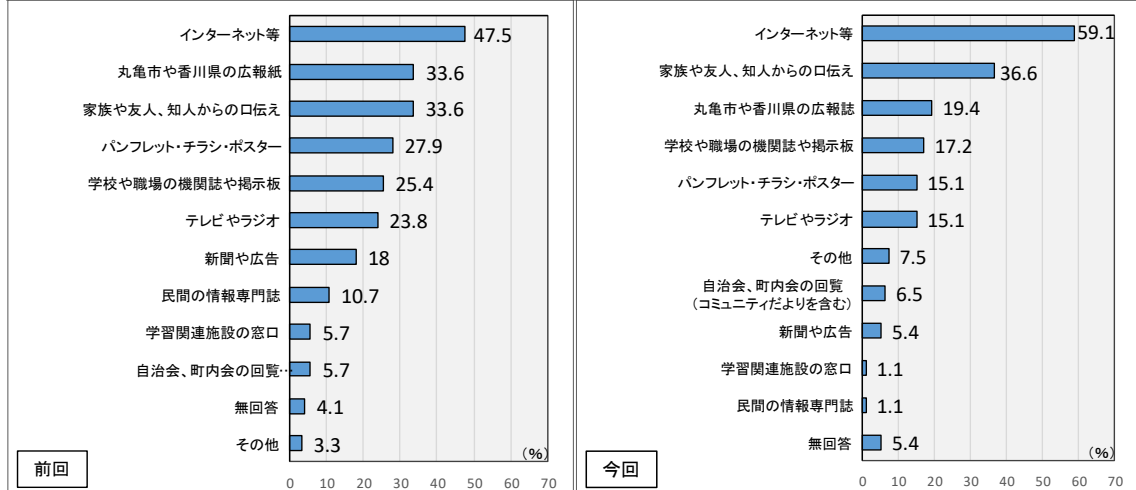
・この層の参加意欲につながるきっかけとなる企画と、目に止まる発信の仕方が重要である。

問9. あなたは、生涯学習に関する情報をどのように得ていますか。当てはまるすべてに○をつけてください。(有効回答者数:1,000人)

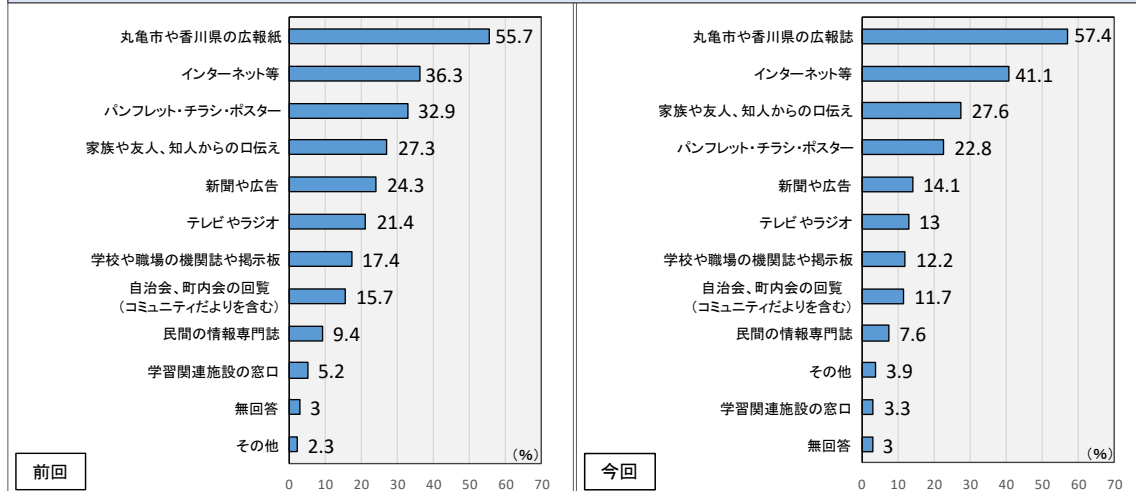


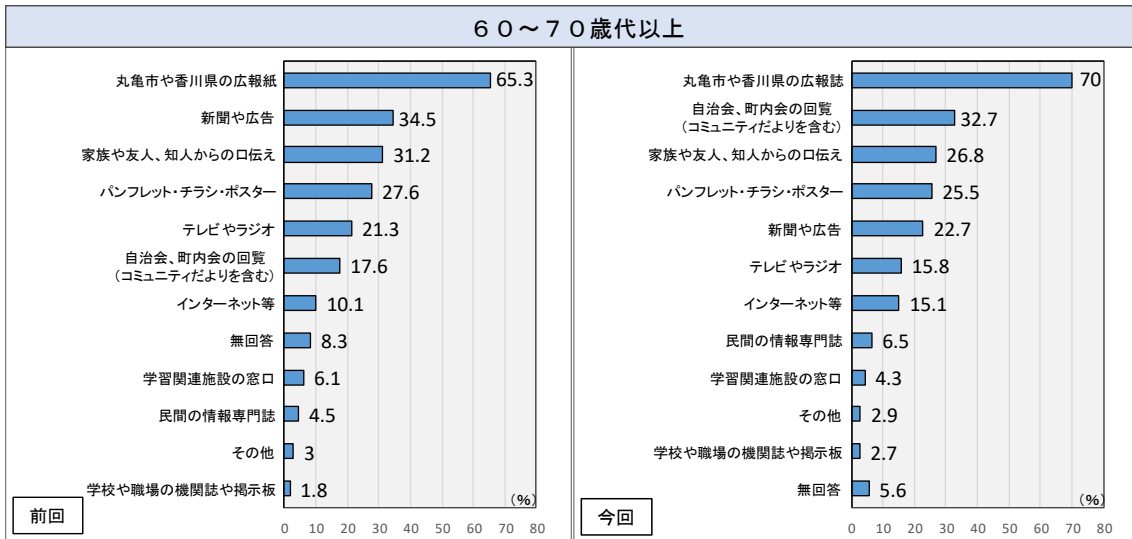
年代別 情報入手方法割合

18～20歳代



30～50歳代

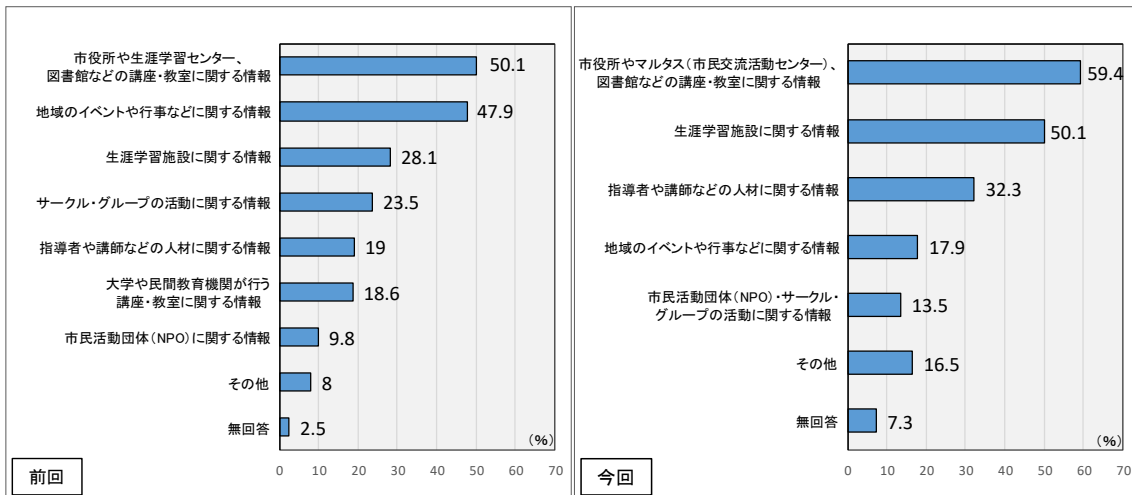




【現状】
 ・前回の調査同様に、「丸亀市や香川県の広報誌」から情報を得るケースが約60%と圧倒的に多いが、若い年代層ほど「インターネット等」から得るケースが多く、全体においても前回の5番目から今回2番目に上昇している。

【課題】
 ・幅広い年代層が生涯学習活動に取り組んでもらうために、広報誌やインターネット等をベースとした情報発信を心掛ける必要がある。

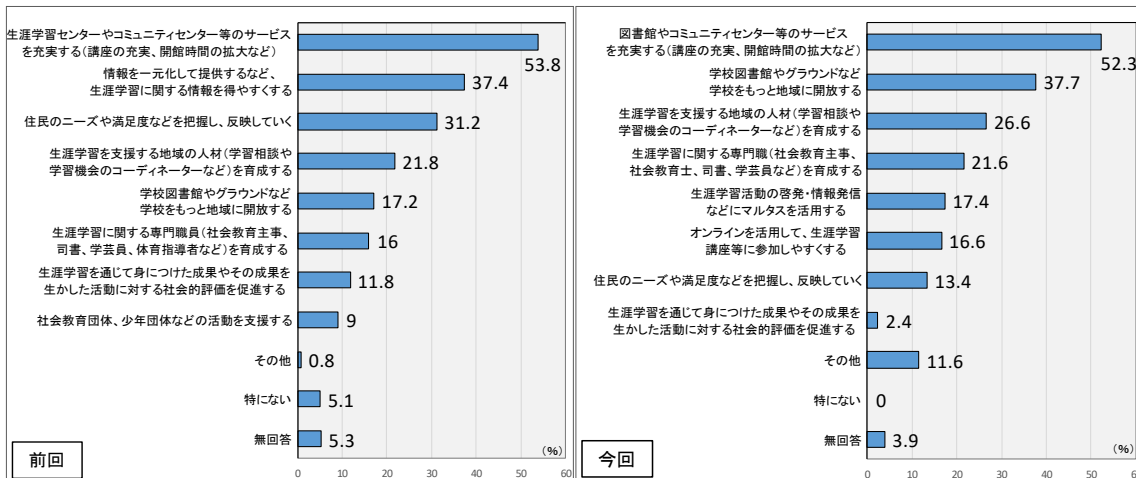
問10. あなたは、生涯学習に関してどのような情報があったら良いと思われますか。3つまで○をつけてください。(有効回答者数:990人)



【現状】
 ・前回の調査同様に、「市役所やマルタス、図書館など公共施設における教室や講座に関する情報」を求めているケースが多く見られる。また、コロナに影響を受けてか、「地域のイベントや行事に関する情報」は47.9%から17.9%と大幅に減少している。

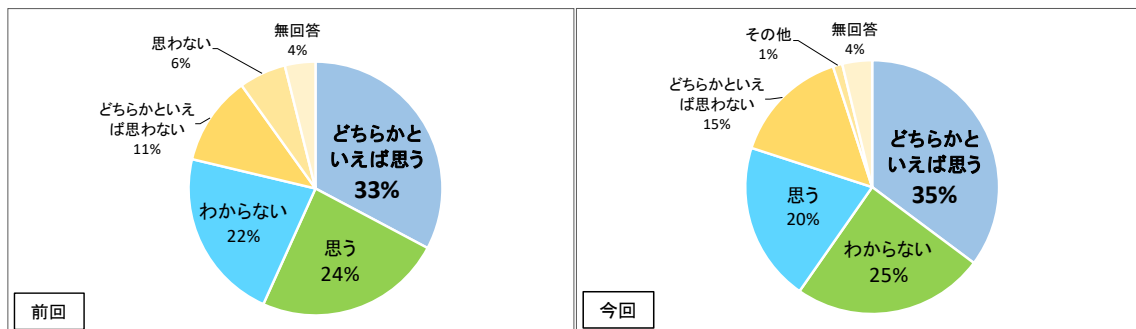
【課題】
 ・「指導者や講師などの人材に関する情報」を求めているケースも増えているため「人材バンク」の整備をする必要がある。

問11. あなたは、これから丸亀市で生涯学習をもっと盛んにしていくためには、どのような取組が大切だと思いますか。3つまで○をつけてください。(有効回答者数:987人)

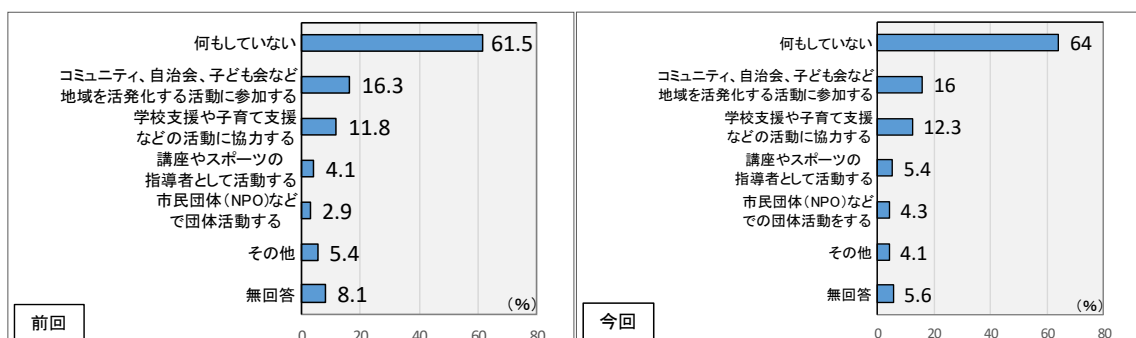


【現状】
 ・前回の調査同様に、「図書館やコミュニティセンター等のサービス充実」を期待する意見が多くなっている。その他に「学校図書館やグラウンドなど、学校をもっと開放する」ことが大切だと思っている人の割合が17.2%から37.7%へ大幅に増加している。
【課題】
 ・公的施設のサービス充実を図るほか、学校と地域の連携・協働事業の更なる充実を図り、学校開放事業拡大に繋げていく必要がある。

問12. あなたは、学んだ成果を地域社会で生かしたいと思いますか。1つだけ○をつけてください。(有効回答者数:998人)



問13. あなたは、学んだ成果をどのような方法で地域社会に生かしていますか。当てはまるすべてに○をつけてください。(有効回答者数:1,000人)



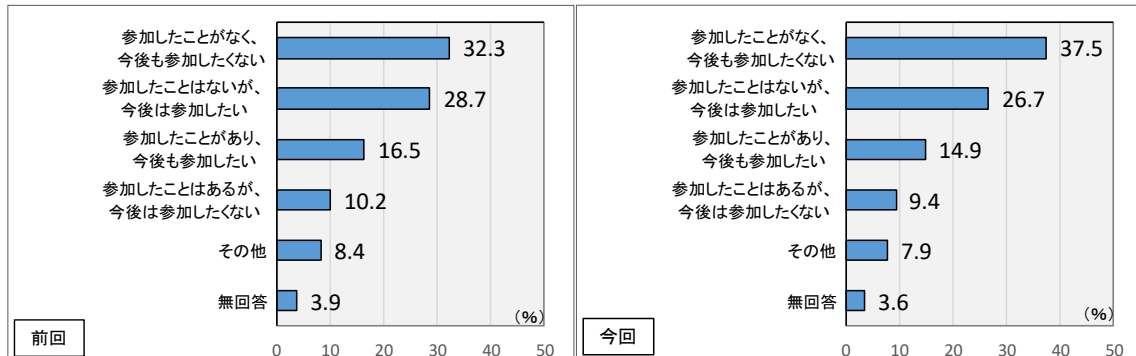
【現状】

・前回の調査とほぼ同数となっている。「思う」「どちらかといえば思う」が55%と半数以上の方が学んだ成果を地域で生かしたいと考えているが、それに対して実際は「何もしていない」が64%という結果となっている。

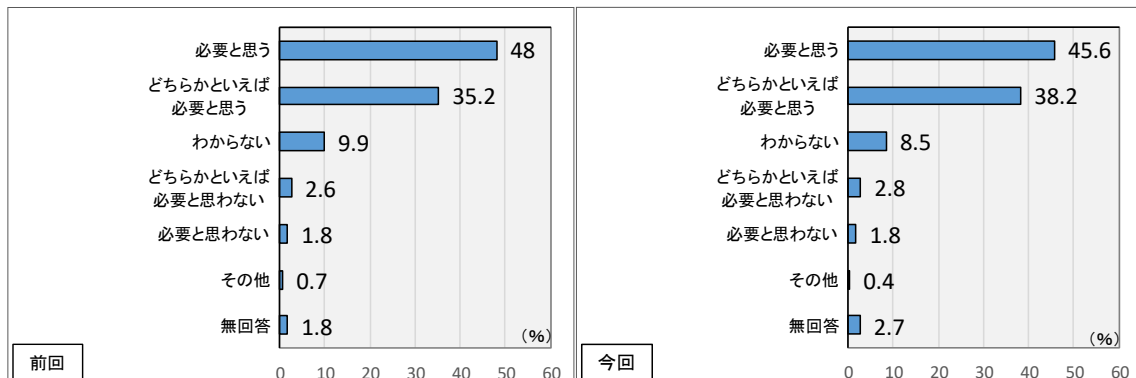
【課題】

・具体的な方法を示しながら、地域のイベント等を通じて生涯学習を地域社会へ結びつけていくことが大切である。

問14. あなたは、子どもの見守りや交流活動など学校を支援する活動に参加したことはありますか。1つだけ○をつけてください。(有効回答者数: 1, 000人)



問15. 地域住民が、学校を支援する活動は必要だと思いますか。1つだけ○をつけてください。(有効回答者数: 999人)



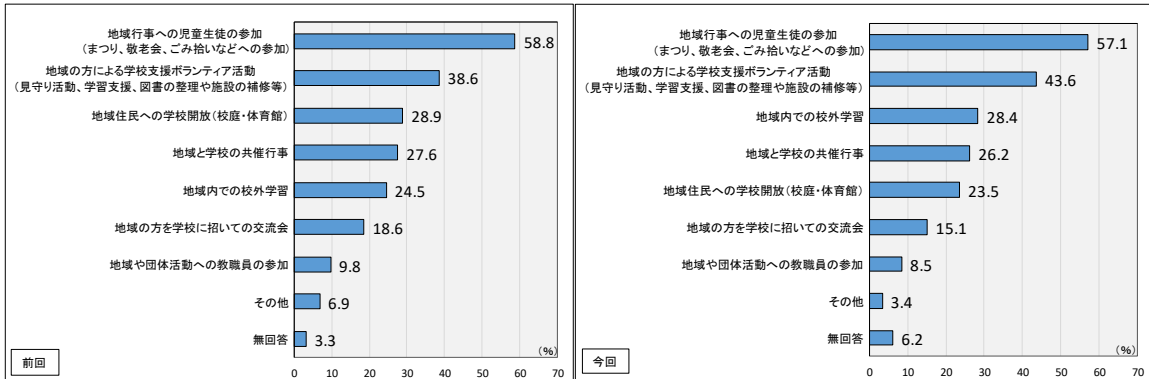
【現状】

・前回の調査と比較して、「参加したくない」と考えている人が、「参加したい」と考えている人を上回ったが、8割以上の方が活動として「必要」と思っている。

【課題】

・地域全体で子どもたちの成長を支援するという取組の重要性の意識付けと、学校を支援するための多様な方の参画を得るための仕組みや体制づくりを更に検討する必要がある。

問16. 学校と地域がどのように連携すれば良いと思いますか。3つまで○をつけてください。
(有効回答者数:996人)



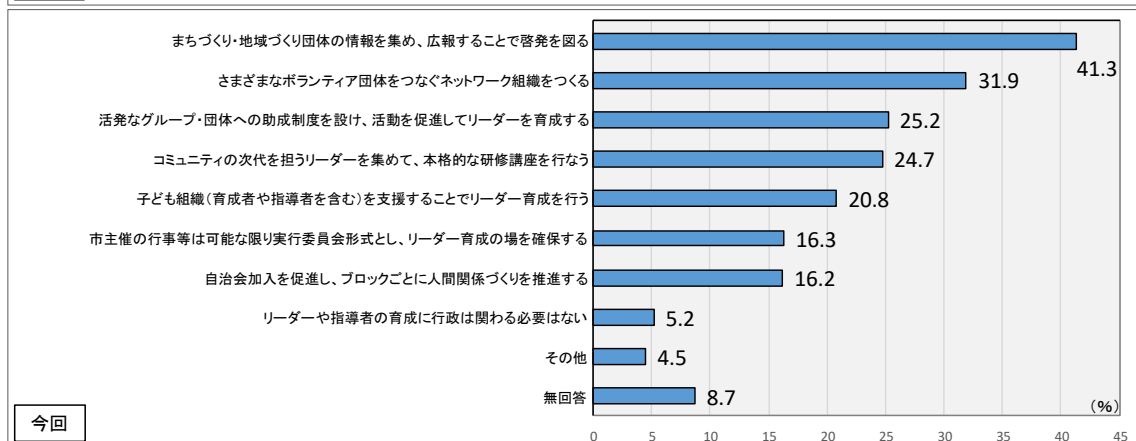
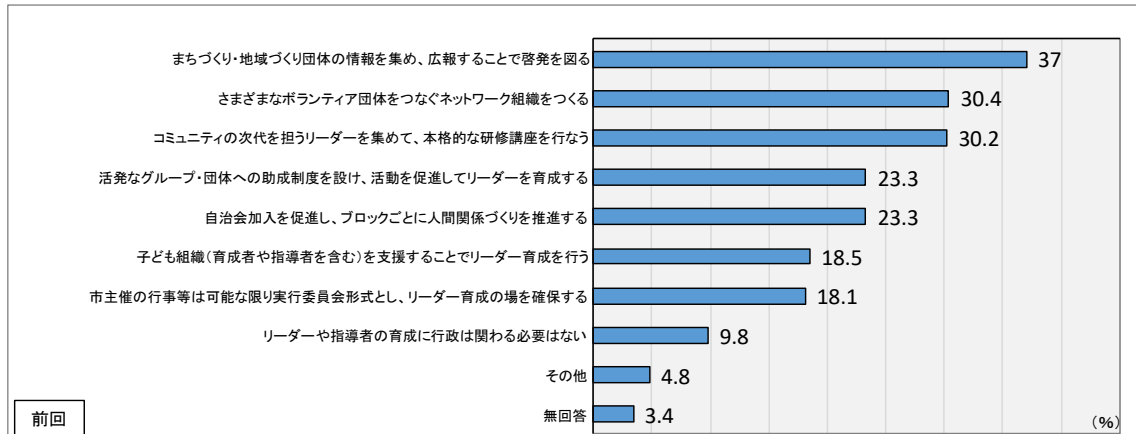
【現状】

・前回調査と比較して、上位2項目である「地域行事への児童生徒の参加」は、ほぼ同じ割合、「地域の方による学校支援ボランティア活動」は38.6%から43.6%へ5%増となっている。

【課題】

・従来から実施されていた学校と地域の連携・協働事業を継続することの重要性が再認識できる結果となった。コロナ禍において、行事が中止となるケースが増えている中、いかにして学校と地域の連携を維持・発展させていくかが課題である。

問17. コミュニティには、多くのグループや団体・組織がありますが、生涯学習を通して、リーダーや指導者を育成していくために必要なことは何だと思えますか。3つまで○をつけてください。※コミュニティとは、概ね小学校区を単位とし、地域づくりを目的に形成された組織を指します。(有効回答者数:999人)



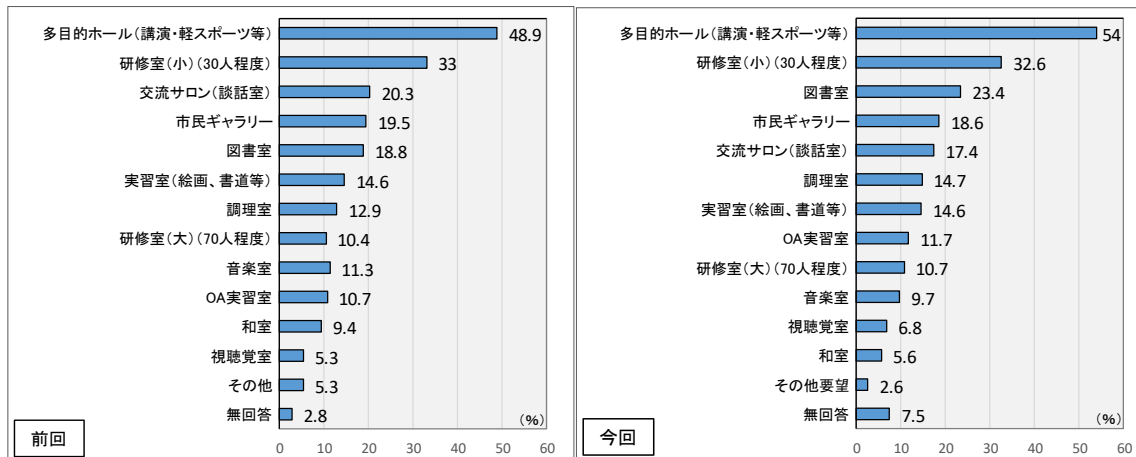
【現状】

・前回の調査と比較して、「まちづくり・地域づくり団体の情報を集め、広報することで啓発を図る」は37%から41.3%へ4.3%増、「コミュニティの次世代を担うリーダーを集めて、本格的な研修講座を行う」は30.2%から24.7%へ5.5%減となっている。

【課題】

・生涯学習を通じて、リーダーや指導者を育成していくためには、まちづくりや地域づくり団体の活動情報を積極的に発信していくとともに、市主催の講座等もPRしていく必要がある。

問18. あなたは、学習活動を行ううえで、どのようなスペースがあれば良いと思いますか。
3つまで○をつけてください。(有効回答者数:993人)



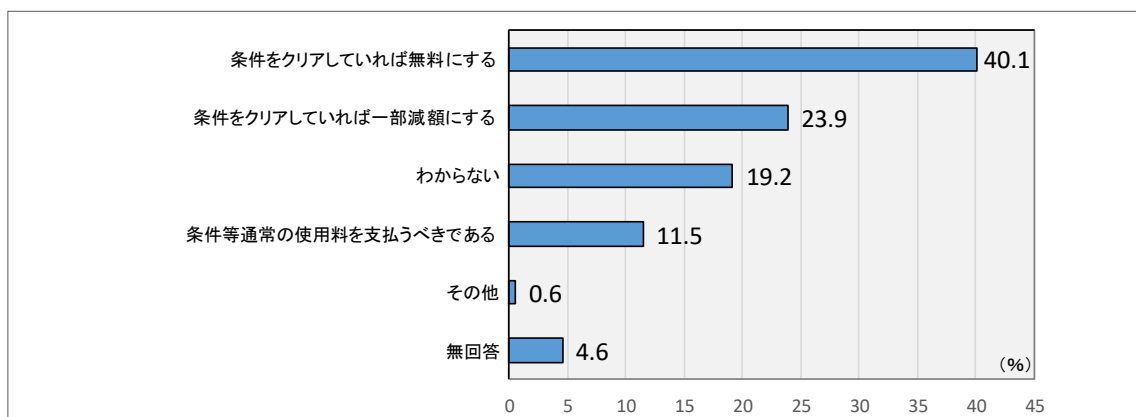
【現状】

・前回の調査と比較して、上位2項目である「多目的ホール」は5.1%増、「研修室」はほぼ同じ割合であるが、「図書室」は4.6%増で5番目から3番目に上がっている。

【課題】

交流サロンの割合が減少して、図書室の割合が増えたことについては、コロナ禍の影響があったものとして考える。学習活動がしやすいように、限られた施設スペースにおいて、どのような機能を優先するかの見極めが重要である。

問19. 生涯学習活動に関する施設の使用料についてどう思いますか。1つだけ○をつけてください。(有効回答者数:999人)



【現状】

・新設項目であるが、条件をクリアしていれば、「無料にする」が40.1%、「一部減額する」が23.9%となった。一方「通常の使用料を支払うべきである」が11.5%という意見もある。

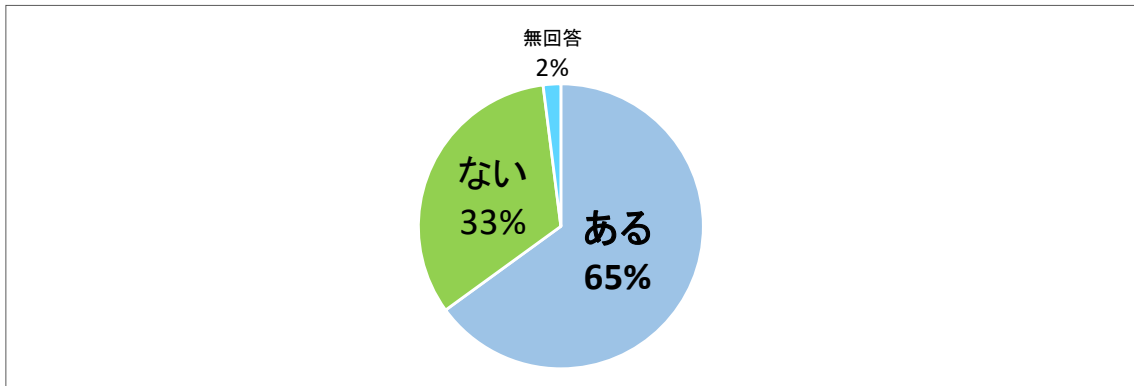
【課題】

・意見が拮抗しているので、減免制度の適用については、受益者負担の原則への配慮が必要である。

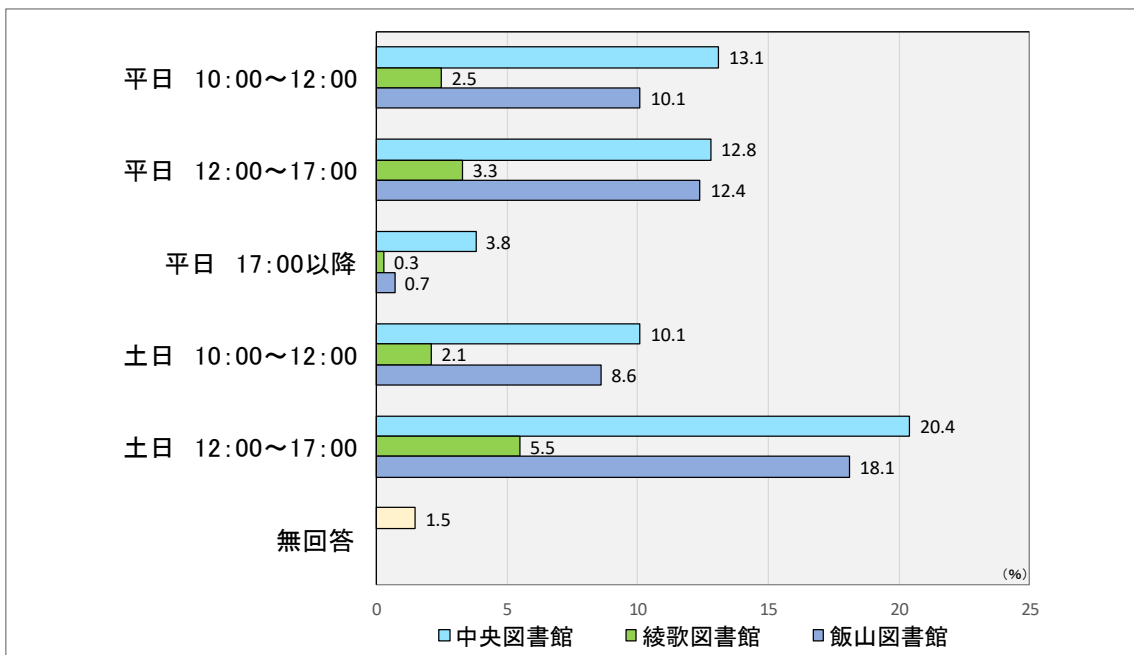
丸亀市の図書館について

問20. 丸亀市内の図書館を利用したことがありますか。どちらかに○をつけてください。

(有効回答者数:1,000人)



問21. 問20で「1」と答えた方におたずねします。よく利用する時間帯はいつですか。ご利用の図書館ごとに1つ、○をつけてください。(有効回答者数:651人)



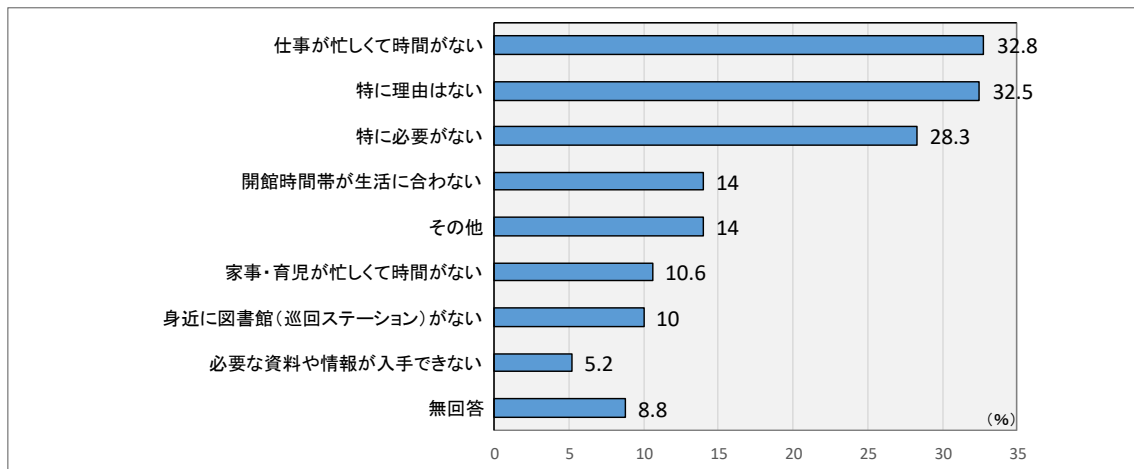
【現状】

・今回の調査では、市内の図書館を割合として、3人に2人が利用しているという結果であった。よく利用している時間帯は、市内3館ともに土日の午後が多くなっている。平日については、日中の利用が多く、17時以降の利用は少ない。

【課題】

・12:00~17:00(特に土日)の利用が多いため、利用者向けのイベントや講座、教室等についてはこの時間帯に実施すると効果が大きいと考える。

問22. 問20で「2」と答えた方におたずねします。あなたが図書館を利用しない理由は何ですか。当てはまるすべてに○をつけてください。(有効回答者数:329人)



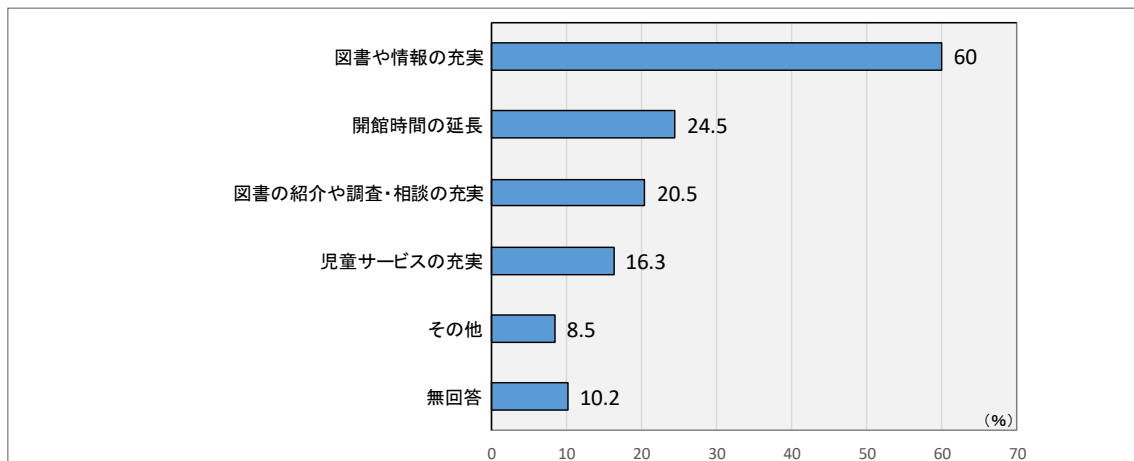
【現状】

・今回の調査では、市内の図書館を約3人に1人が利用していない結果となった。主な理由として、「仕事で忙しくて時間がない」、「特に理由はない」、「特に必要がない」が上位3項目になっている。

【課題】

・「特に理由はない」や「特に必要がない」という理由で利用していない人へ、関心を持ってもらえるようなアプローチ(広報など)を検討する必要がある。

問23. あなたが、図書館サービスに望むことは何ですか。2つまで○をつけてください。(有効回答者数:998人)



【現状】

・今回の調査では、60%の方が「図書や情報の充実」を望んでいる。

【課題】

・利用者のニーズを把握し、図書の充実や情報発信等に繋げていく必要がある。

自由記載

その他ご意見等ありましたら、ご自由に記載ください。

以下からは、いただいたご意見を施策ごとに分類して記載しています。

<1.学びの環境に関する意見>

1-① 情報発信
今回、このアンケートの案内をいただくまで、「生涯学習推進計画」に市がいろいろな取組をしていることを知りませんでした。日々の忙しさの中で、自分が長年住んでいる市のことなのに、お恥ずかしいながらあまり考えてみたこともありませんでした。現在は、子供も成長し、社会人となり、私自身も時間的な余裕もできたので、生涯学習や地域貢献などを始めてみたい気持ちになりました。まだ自分では何ができるのかわかりませんが、できることを探してみようと思います。丸亀市のワクワクするような情報発信！楽しみにしております！ありがとうございました。
まずはどんな活動をしているか、行事があるのか、どんなサービスがあるのかを、地域に広く知ってもらうことが大事だと思います。いい活動をしていても、あまり知られていないのは、もったいないです。次に子どもからお年よりまで、自分も参加してみようかなと思う。「とつきやすさ」一日体験とか、お祭りや発表会の場で、「どなたでも参加できますよ」と呼びかけるとか。気軽に足を向けられるような敷居の低さが大事だと思います。そして各活動、団体のつながり。全くジャンルの違う活動団体でも、何かの行事を通して、お互いを知り合うことで、緊急時や災害時に大きな力になると思います。まずは知ってもらうことから。家にいると情報が入ってきませんから。生涯学習を通して、地域から孤立や孤独がなくなることを願っています。ありがとうございました。
参加しやすく生活を豊かにする情報や活動の提供。
定年退職後、ボランティアなどに参加したいが、参加の仕方も分からず、丸亀市でどんな活動が行われているのかも知らず、そんな情報の分かる所を教えてください。
忙しい子育て世代の人達にもっと「生涯学習」が浸透すれば、より良い地域社会を作るきっかけになるのではないかと思います。
地域の中で、つながりをもて、教育を生かせる市になっていけたらと思います。介護福祉士やケアマネージャーの資格を活かせたらと思います。園芸に興味があるので、教えてくれる方がいればと思います。今日ネットで学んでいます。
生涯学習活動を知らない方が沢山いる。自分は料理教室活動によく参加させてもらっていましたが、そういった活動があるのか全然知られていない。もっと知ってもらうようにポスターや市のホームページに載せるなりしないといけないと思う。若い人達はマルタスの存在とか知らないと思う。ポストに投函だけでなく、学校で配ったりなどしても良いと思う。
私は民間の英語教室に通っています。今の先生に出会えるまで沢山の時間も使い探しました。市のカルチャーセンターや他の市のカルチャーセンターも探しましたが、選べる時間帯も少なく、自分の休みや自由になる時間とは合いませんでした。もっと色々な語学を勉強したいですし、生涯学習にも出会いたいと思っています。その為にはもっと丸亀市での学習できる内容や先生の人数を増やさないといけないし、利用する側にも、もっと認知してもらわないと難しいかと思います。
このアンケートを通して、改めて生涯学習に取り組んでいきたいと思いました。これからも生涯学習に取り組やすい環境づくり、生涯学習へのきっかけとなるような情報・アンケート等を発信してほしいです。
丸亀市に住んで3年近くになりますが、子供もおらず地域の人々との交流もありませんので、コミュニティセンター等でどのような学習ができるのか全くわかりません。私が高いお金を払ってとった資格もそのような所で、似た内容のことが学べたと思うと残念です。もっと一人暮らしの若者(特に県外移住者)にも情報がわかりやすいような工夫が欲しいです。「広報まるがめ」のようなものではなく、もっとチラシみたいな読みやすくて分かりやすいものをポスティングして欲しい。
趣味と特技、やりたい事と活かしたい事、他人の学習欲を手軽に紹介するシステム、求める人材、技術能力活かせる場づくりの紹介。
最近、療養中の病気の状態がやや軽快し、少しずつですが、外出をすることができるようになりました。図書館や美術館等を利用したいと考えています。また、丸亀城も見学したいと思っています。その際に、有用な情報を、より広く広報して頂ければと思います。
情報の発信が弱い、広報やパンフレットを置いているだけではダメ。最低、自治会単位で、こういう講座があるとか知らせれば学習する人が増えると思います。
1-② 講座・人材の充実
市の生涯学習にどういったものかわからなかったもので、このアンケートが届いて初めて市のHPからPDFをダウンロードして確認しました。色々なクラブが存在することができました。参加者の年齢が高そうなイメージがあります。また、各講座の難易度が分からないため、興味があっても、一人でそのコミュニティに飛び込んでいくのは勇気がいると思います。誰かと一緒に参加するなら楽しそうですが。どの講座も月謝が安いので、子供にも対応したものがあればいいなと思います。
終活の講座があれば参加したい。

だれが比較的自由的な形でそれぞれに合った活動が可能になるよう、さまざまなチャンネルを用意してもらいたい。
スマホ・タブレットなど気軽に教えていただける学習室を設けて欲しい。
今後…起きるであろう水害や震災への対策や備えその後の生活の智恵や様々な事を学ぶ体験をする機会があるといいな。(食事やトイレの工夫)
生涯学習という言葉が漠然とし過ぎていないか？年齢層や地区など、様々の要素で区分した団体を形成し、数人のリーダーのもと、継続的な発展的な少集団を多く作っていく事で、細やかな部分での参画意識も高まっていくと思う。趨勢的には、人口減、高齢化は必然だし、流入人口を増やす事に注目していても、既存住民とのコミュニティ作りは、すぐにはできないと思う。受け皿としても、交流の場としての位置付けを啓蒙しておくべきだし、子供達にも将来的な県外定住よりも地元永住を導くために、道筋として高齢者の社会作りを優先する目的を持って、活かせる学習メニュー作りを希望するし、リーダー作りに期待する。
ハード以上に重要なのがソフトだと思います。能力、展望をもって企画実行していき、各分野で地域社会、子どもたちのために資していくやる気とバランス感覚をもった個性の人材を市はたくさん登用して欲しい。年度ごとに予算を消化して、そこそこの活動の場を提供すればよいというスタンスには決してならないでいただきたい。
各人に合った人材資源の活用場。
学校教育の場合、部外講師を多く招聘して、様々な分野で活躍する人物との交流機会を増やすとよいと思う。将来の職業選択の幅を広げる機会を設けることは、学習意欲の向上に繋がると思い、又、教職員のスキルアップを図ることができると思う。
1-③ インターネット、オンライン
某生涯学習に参加した際に、同参加者の一人より重犯罪被害を受けたことがあります。直接参加型の生涯学習だけでなく、インターネット参加のものを増やして欲しいです。
学校と地域との連携もコロナ禍でなかなか自主的に申し出ることは困難。終息したとしても、学校も年間予定もあり、学校側の受け入れ準備に、忙しい先生方に申し訳ない気もする。なので、学校側から提示あればどんどん協力できると思う。タブレット配布して頂けたらユーチューブでも生涯学習活動が可能。調べ物も図書館よりインターネットがいつでも可能。利便性が高い。(丸亀市はたくさんお金があるのなら)補助金でもありがたいです。
インターネット、SNS等で発信していくべきだと思う。
コロナ禍で生涯学習をしたくてもできない状況にあると思います。安心して行事(事業・研修)に参加できるよう、どのような環境設定をしているのかなどの情報を詳しく発信していただければと思います。そして、Zoomなどインターネットを活用した学習方法を今から準備計画していく必要があると思います。
現在、コロナ禍で新しい変異種が次々と出てきている状況。人が集合して行う研修はクラスターにつながり、難しくなると思われる。これに対しては、ネットを利用するしか方法がない。しかし、ネットは1.パソコンをもっているか否か、2.操作が必要(PCの)等をクリアしないとイケない。
まだこちらに住んで2年です。働いているとなかなか生涯学習に取り組む時間がとれません。情報収集だけでも正直面倒に感じます。オンラインやオンデマンドでの配信とか、ラインで情報提供(インスタやツイッターでも)などがあると、これなら参加できそうとか、こんなのあるのかとかと知るきっかけになるように思います。
1-④ 子育て世代の意見
子育て中でも学習の場が設けられるよう、託児や一時保育など子どもを預けながら利用できる場があれば嬉しい。(一時保育の充実)子どもがいるとゆっくり本を選ぶことができない為、子ども向けの支援サービスが充実すると嬉しい。
子どもが小学校に入学してから、書道教室に子どもと一緒に通い始めました。今年で3年ですが、大変な時もありますが、楽しく続けています。「子どもと一緒に」というのが、一番良いのかもしれない。図書館の利用も子どもと一緒に行くことが多いので、親子一緒にできる講座みたいなものが増えると、子どもとの時間も増え、生涯学習する機会も増えるのではないかなと思います。
丸亀市は、子育て世代への支援が非常に充実していると思います。娘といっしょにいろいろ参加させてもらっています。ありがとうございます。 コロナで大変だと思いますが、がんばりましょう！
生涯学習の教室の紹介など、子供だけでなくその保護者へのお知らせなどをすれば、子育て以外に興味などを充実させることができ、お母さんお父さんが楽しみをもって生活することが、子育てにもいい影響が出ると思います。子どもを預けてゆっくり学べる環境づくり(一時的に子供を預かる)も充実していると学びやすくなると思います。
市内に平面で広く、トイレや炊事施設もある野外キャンプ場があるといいなと思います。畦田キャンプ場は急な斜面に区画があり、トイレ、炊事も区画から離れているため、子ども連れには利用しにくいです。県内外の利用しやすいキャンプ場(マリパーク新居浜、塩江いこいの森など)は現在、コロナ禍で行けなかったり、キャンプブームで人が集中しています。子育て世代には野外活動を通して学べることも多く、また親もそこで知り合った人々で新たな集いの場が生まれるのではと思います。そこで、年配の方から伝承遊びや暮らしの知恵を教わったり、世代を超えた交流にも繋がるといいなと思います。もし、現在あるコミュニティで上記のような交流ができ、いい場所もあるのでしたら、情報発信して頂きたいです。子どもがきっかけで親も交流、学べる場へとつながると思いますので、情報発信よろしく願います。

1-⑤ スポーツ
テニスコートの予約や入退出管理、支払い(ネット決済)などオンラインで出来るようになって欲しい。
筋トレ教室やウォーキング会等が多々あれば参加したい。
綾歌町に市営球場(軟式でも可)を作って欲しい。
子供たちがゲームやインターネットを利用し人との交流が減っているの、スポーツなどの交流会を増やして欲しい。
趣味とかスポーツ等やりたいと思う。きっかけが出来ない。
1-⑥ まちづくり(お城、駅前、商店街)
生涯学習も今後さらに充実させていくべきだと思いますが…日本でもあまり例を見ない駅前にすばらしい美術館があったり、歩ける距離でお城があったり、港までも近く、コンパクトに充実の施設があり、とてもすばらしいと思いますが、市民がゆっくり散歩できる道や少し休んでお茶をする場所が全くありません。丸亀城の周辺には観光客も多く、丸亀市は素通りの街となっています。商店街、魅力的な店など市は大型ショッピングセンターではなく、丸亀城や駅前にこそ、何かと足を止めるものを作るべきです。安物のホテルなど必要ありません！是非、丸亀をみんなが好きな街に…。
お城をもっと有効活用できたらと思います。私が子供の頃は人もたくさんいてにぎわっていたなあ。県外の人呼び込むよりも、市民がたくさんいる様な地元のいいの場になればと思います。
新庁舎も出来て、これからの丸亀を背負う若い人たちが活躍出来るように支援よろしくお願いします。まず商店街の活性化を早くして欲しいです。一日も早く、活気あふれた丸亀市になりますように。
お城を中心とした文化都市を目指すべきである。
1-⑦ コロナ
昨年からはコロナで何もできないので、速く終息出来たらいいなと思います。
現在、コロナ禍生活の為、自由な行動がとれないので早く終わる事を願っています。
早くコロナが治まらないと何も始まらない。
介護で短時間でも日時を決めての予定を作れない。又、コロナ禍でなかなか人が集まる場所は避けたいのが一番。自分の啓発のため、何か挑戦できる日が早く来て欲しい。
1-⑧ ボランティア
生涯学習で地域ボランティアをして下さっている方にも、このコロナの中、色々して下さっているの、多少は謝礼を支払ってはいいいのでは？そうすると年配の方々60歳以降の方も、もっと外に出て活動が増え、いくらボランティアといっても、そのくらいは地域の方々の為にしてくれているので良いのでは？
主人(10年くらい前)出張等が多いが、空き時間の時もあるので、「学校の見守りをしたい」と申し出たがダメであった。その通学路は今も誰もいない。
子供が小学生です。地域で見守り活動をして下さっている方々には本当に感謝しています。
1-⑨ 障がい者
障がい者施設に勤めています。障がい者に対する理解を深める運動をしていきたい。その機会をつくるためにどうしたらいいのか？
より良く地域が発展する為に、健常者と障がい者の交流を深められるサークルもしくは団体活動をして頂きたい。特に聴覚障がい者でも住みよく、困った時に頼れる場を設けてほしい。聴覚障がい者に対する理解を広くしてもらいたい。小豆島のように、若手の芸術アーティストの卵や、広報活動をより出来やすい環境が増えてもらいたい。
我が家は知的障がい児を抱えています。知的障がい児が利用できる(参加しやすい)生涯学習会を作って欲しい。親子、介助員と参加できる体操クラブや絵を描いたり、音楽を楽しんだり…。クッキングももし、今あるのなら、教えて欲しいです。
1-⑩ 妊活中
私は現在妊活中ですが、同じ思いの人が集まる場所があると嬉しい。子供がいなくてママ友もできず、周りの人との出逢いがなくてさみしく感じています。妊活中の人と、子供をあきらめた人、では心境が違うので分けて欲しいです。

<2.施設に関する意見>

2-① マルタス
3児の母をしています。他県から嫁いできたので丸亀市民歴はまだ浅いのですが、とても住みやすい町だと思っています。ただ、やはり土地勘や情報が少なく、子育てや仕事をする上で様々な事で悩んだ事もありました。行政から情報提供して下さる機会もあるので参加すればいいと思われる方もいますが、やはり踏み込むには勇気があるのでなかなか知り合いも増えず孤立してしまう事もあります。マルタスのような広くて明るくてどんな人でもすぐに入っていける場所があるのはすごく助かります。外からも中の様子がわかるので入りやすく、キッズスペースでは同じような方が多いので過ごしやすいです。こんな明るく誰でも入っていけるような環境で、いろんな事が学習できたり情報交換できる場所を与えて下さると私たち子育て世代も入っていきやすいです。私もそうですが、自治会に入っていない(入る気もないのですが)ので情報が丸亀広報、学校、子ども園などと、得られる事も少ないです。小さなイベントでも、勉強会でも、体験会でも本当に小さな事でもいいのでたくさんの情報を、まずは得る事ができる環境をください。長々とすみません。これからも頑張ってください。

市内の施設(マルタスなど)にストリートピアノを置いて欲しい。
マルタスは素晴らしい施設だと思います。活用させていただきます。
マルタスができて、さらに気軽に学べる場所ができたと思います。レクリエーション大会や講演会などを積極的に開いても良いかと思えます。丸亀は、県の真ん中なので、西から高松までなら、気軽に来られますし、イベントを増やすのは、良いのではないのでしょうか？頑張ってください！一緒に頑張りましょう！いつも市民のためにありがとうございます。
マルタスのイベントを充実して欲しい。
マルタスは、室内で飲食できるのも魅力的です。各図書館も同様にできたらと思います。
マルタスに何回か行きましたが、カフェと図書コーナーが全面に出ていて、他に何があるのかが良くわかりません。(お年寄りが困っているのをみかけます)雰囲気は良いですが、どこに何があるかわかりにくく、あまり使い勝手が良い施設とは思えませんでした。
コロナ禍に民間ならともかく、マルタスを開けて人と人が交流する必要はないと思う。今まで関西(京都、兵庫、大阪)や関東(東京、千葉、神奈川)に住んできたが、図書館をはじめ、生涯学習活動を行うには丸亀はレベルが低過ぎる。マルタスも税金を使って、今時こんなものしか造れないのかとがっかりした。これでは他の街との差はひらく一方だ。
マルタスは小さな子ども～高校生の学習スペースとして利用できるとてもよい施設だと感じています。退職したシニアにとっても利用しやすいという声を聞いています。このような施設をもっと点在させると、コミュニティとして人が集まり、情報発信の機会も増えるように思います。親としては、小、中、高校生が勉強や遊びをのびのびとできるスペースがあると安心します。
先日、マルタスで勉強や本を読みました。とても広く使いやすく良い施設だと思い、これからも使わせてもらいます。
先の市長選挙公約に給付金についてのものがありましたが、実現してもしなくても、子育て支援や教育の充実を後回しにすることがないようにお願いしたい。巨額の投資をしたマルタスを今後、より良い施設として市民が利用できるものにしていくことを望みます。
2-② 図書館
図書館で見た目は普通ですが、自閉症なので大人でも子供の読む本を楽しみにして見たり読んだりする人がいます。その人のあとをついて歩く係員さんがいますが、遠くからの見守りにしてもらいたい。本人は追いかけているという気持ちで、いつもより歩くスピードが速くなり、パニックを起こします。付き添いの人に聞くとか、見守りしていただくとうれしいです。
図書館は孫とよくいきましたが、この頃はコロナで遠のいています。ネット社会になってきましたが、私の年齢では静かで落ち着いた空間での”旅”や”花の栽培”など、絵や字の大きな絵本を揃えていただければ嬉しいです。
後期高齢者になると、図書館など学習施設までの交通手段が充実していなければ、活用できません。赤字になっても、ローカルバスを活用できるようにして欲しいものです。図書館には古典書も充実して欲しい。(西・東洋問わず)
中央図書館の身障者用駐車スペースにはほとんど車が止まっています。3スペースありますが短時間利用者(5～10分以内)にも使用できるようにしてもらえないでしょうか？現状道路に駐車して返却、借入れしている状況です。
図書館はよく利用します。とても助かっています。
マルタスは、室内で飲食できるのも魅力的です。各図書館も同様にできたらと思います。
図書館で本を借りても、返却期日を過ぎてしまう事が多々あり、迷惑をかけています。貸し出し期間をもう少し延長する事は無理でしょうか？
丸亀市の図書館も電子書籍の貸出をはじめて欲しいです。いつもお世話になっています。ありがとうございます。
未就学児向けのエリア(個室)があれば子供とゆっくり本を選べるようになり、ありがたい。←飯山図書館への要望
2-③ 施設に対する意見 (大ホール他)
市の中心部に大規模なホール、駐車場を有する市民会館を設立して欲しい。アイレックスは不便。有名な劇団、ミュージカル、音楽コンサートなどを見たいです。
今年で生涯学習センターの使用ができなくなりますが、その後の使用できる場所を、早く決定して文化協会などに知らせて下さい。場所がなければ何もできないのではないのでしょうか？
生涯学習で学んだ成果を発表等する施設の充実を望む。例)駐車場の問題や建物内の照明設備の改善等。
丸亀市の市民会館を早く作らないと文化がなくなる。講演や演劇等高松市や観音寺市へ遠方まで行かないといけない。丸亀市の行政は何をやっているのやら！！大切なものにふれる機会をうばわないで…。
退職後の人が自主的に楽しめる場所を、今ある生涯学習センター近くに(車がなくても行ける所)ぜひとも欲しい。
常設で音楽活動に使える場所、常設できるしっかりしたギャラリーはぜひとも欲しい。
文化的活動をしている人が丸亀市民に多いのに発表できるきれいな施設が整えられていない。(ギャラリー)

2-④ 施設の開館時間、曜日
コミュニティセンターが近いので、色々な行事に参加したいのですが、ほとんどが平日の昼間で、平日17時まで仕事、休みは日曜日のみは、全く参加できません。健康相談、講演会、健康体操、料理など興味あるのはたくさんありますが、全く参加できなく、とても残念です。講師の先生の都合もあると思いますが、日曜日に少しでも参加できるようにして欲しいです。逆に質問したいと思います。日曜日に行事などが無いのはどうしてですか？仕事をしている人も参加できるコミュニティセンターになるよう願っています。このままだとお年寄りメインのセンターになるのでは？いえいえ、初めからお年寄り相手のセンターなのですね？仕事をしている人は最初から相手にしてないのですか？それなら納得します。とても残念なコミュニティセンターです。
柔軟で臨機応変な対応が必要だと思う。人の多い少ないで開館時間の延長や短縮等を決めたらどうか？民間と同じような。
美術館、夜遅くまで開館している日があると嬉しい。
市民講座に参加したかったが、時間帯があわなくてあきらめたことが何度かあった。利用しやすい時間帯は人によって違うだろうが、もう少し幅があればと思う。
親子で参加できるのが、増えるといいなあと思います。日曜とか、夜とか仕事じゃない休日(土・日)とかに開催してもらえたらいいと思います。
広報に載っている講習会の開催時間が、平日の日中の時間帯が多く、フルタイムで働いていると、興味があっても参加できないことが多いです。働いている人も参加しやすい時間帯で開催して欲しいです。

<3.生涯学習に関する意見>

3-① 生涯学習クラブへの要望
年一回提出する書類をもっと簡易にしてほしい事と、会計報告を無しにしてほしい。と言うのは、冷暖房費の徴収が有るだけで、皆からお金をもらっている。無料にしてくれたらお金の出入りがなくなるので全て良し。P.S.綾歌町時代は文化事業の団体に年間3万円近くの補助金が出ていました。
3-② 生涯学習活動に関して
気持ちは若くてもいざ活動となると、思う様に体がついて行かない年齢的に。でも出来るだけ、体を動かしています。今、民踊を平成16年からクラブでコミュニティへ週3~4回行って、練習をして仲間との交流を楽しんでいます。コロナ禍の中でもストレス解消しています。
飯山の親子料理教室や陶芸教室に参加させていただき、子どもたちの心に残る活動ができました。図書館のイベントでも、作家さんに直接お会いできたり、ますます本に対して親しみが持てるようになりました。
英会話をマスターして、話が出来る様になること。
すみません。自分は外に出るタイプではないので、終活もはかどらないし、畑仕事も忙しいし、毎日の家事もめんどろで…ただ楽しみは持ってます。ダラダラ好きな事をして、今が一番幸せです。役立たずなばあさんでごめんなさいね。
生涯学習の意味がよくわかりません。
アンケート表紙「お願い」に生涯学習とは何？を記載して欲しかったです。どこまでの範囲のことを指すのか、よくわからなかった。
生涯学習とは何ですか。
そもそも、丸亀市生涯学習推進計画とは何か、どういった内容かが理解できていません。私以外の市民にも浸透しているのか疑問です。このアンケート解答内容を基に次期計画を立てたところで、何か変化するものではないと思料されます。根本から考え直して、広く市民に学習推進計画を周知すべきと考えます。
今回のアンケートで”生涯学習”自体をどうしようかと言う動きが有りますが、そもそも何をしているのか知りません。又、知る機会も限られています。まさに、知っている人のみ楽しみ学ぶ場となっていて、広く市民が自由に学べる機会になっていないと思います。開講も5月でしたか？それを逃すと講座も聴講出来ない閉鎖形の一部の人だけ活用している場に陥っていると思います。

<4.その他>

4-① その他
生涯学習課のみでがんばってもだめでしょう。まず学校教育、消防、警察等の行政組織と連携して負担が増えないようにしないと。教育分野は予算が少ないので辛いと思います。「40歳までにお医者さんになった人の学費は全額市が負担します。」とかやればおもしろいと思います。将来はコミュニティの場が学校ではなく病院施設になります。
地域グループと学校とが協力しあう必要があるとはいえ、互いの立場を十分に理解しあうことが基盤となると思う。ボランティアグループがカリキュラムを理解できていないのではないかとと思われることがあるし、人事異動で管理職が替わった時などに次職への伝承ができていない場合、協力態勢が崩れたり、不審感が生まれるように思う。生涯学習などというのは、自ら必要と感じて学育テーマが決まるものだと考える。行政に学育しろと言われる筋合いのものではない。行政は学育テーマを魅力的に伝える手伝いの工夫や関心を深めるテーマの情報の提供を充実してもらいたいものだ。

<p>年金が60才でもらっていた時代はそれ以降”生涯学習”が必要だったかも知れませんが、今や年金支給は60才→65才→70才と先送りになりつつあり、生涯学習→生涯労働に変わりつつあると思います。 市の政策もその方向へむかうべきで”生涯学習”とかのんびりしたような事をやっている時代はもう終えんを迎えていると思います。 もっと税金を”生涯学習”でなく若い人に子供をどうやって生み育ててもらおうかに使ってもらいたい。</p>
<p>やっていることが固い。 高松のようなエンター性のある行事を増やして下さい。</p>
<p>日常生活は全て学びであると考えているので、今まであったものに特化して学習することも大事だが、小さいものに目を向けて何でも学ぶという体制を作ってみてはどうか。面倒なことでも誰かがきつと何かを学び続けていると思われるので、長い目でみる。おもしろく楽しいものは個々に違っていて、枠を決めて学習体制を作らなくても良いと思う。</p>
<p>様々な地域活動への参加が企画されますが、参加者が輪番制になったり、半強制的な参加を強いられる事のない様にお願います。あくまでも自主参加。参加の募集を委託する団体にもその様な傾向のない様、指導監督お願いします。</p>
<p>活動の成果を広報等で紹介したらよいと思う。</p>
<p>アンケートに答えるからなにかくれ(図書カードとか)封筒に両面テープをつけてくれ。ノリを塗るのが面倒。</p>
<p>こういうアンケートでも来れば、ああ、そういう事を真剣にやっているんだなど。じゃあ、今後無視もできないなど思わせてもらえた。全く考えていなかったが、いずれ利用してみようかなと思う。何らかのコンタクトがあれば、動こうかなと思うのでアンケートでも何でも名差してくるのは、結構いい事だと思った。</p>
<p>会社等を退職した後の生活スタイルを、今から不安に思っています。家に籠る事なく、豊かな毎日を送れば良いかと、このアンケートを回答しながら考えた次第です。</p>
<p>必要な図書は自分で購入して読んでいる。私自身、今までにいろいろな手術をしているので、手足にしびれ等があり、調査に協力し辛かったので、このような調査は考えて出したいと思っています。そういう訳で、自筆も許されました。</p>
<p>一度行ってみれば、利用しやすくなるのかと思います。</p>
<p>国や地域を大切に考える人間を育成して欲しい。</p>
<p>アンケートもいいですが、もっと市民の声が出せるようにして下さい。コロナで仕事なども少なくなっているので、いい街にして下さい。</p>
<p>設問が難しすぎて、理解が困難でした。特に設問10、11、17。このため、うまく回答できていないかもしれません。申し訳ありません。</p>
<p>個人の希望から回答するのか、あるべき姿から回答するのか、立場が揺れてしまいました。</p>
<p>貧乏性の為、仕事の手伝いがとても楽しい。しかし将来の事を考えると他の楽しみを見つけない。若い時、沢山楽しい事をしたので、今は仕事になったのかなとも思う。</p>
<p>あて名本人となっていますが、5年前から病氣療養中ですので70才代女性が記入しました。</p>
<p>4-② 応援メッセージ</p>
<p>より良い丸亀市であります様に願っています。子供達の為にも、楽しい生活できます様に。</p>
<p>いつもありがとうございます。親も高齢になってきているので生涯学習の利用をしていきたいと思っていたし、私自身も今後意欲的に活用していきたいと思っていた矢先のアンケートでした。きっかけを頂いたので一歩進みたいと思います。生涯学習は自発性があるので大変だと思いますが、地域住民が学ぶための大切な組織だと思います。これからの発展を期待しています。暑くなってきているのでどうぞご自愛下さい。</p>
<p>生涯学習は、自分自身の視野を広げ、今後の生活に役立てるものと考えていました。地域社会で活かすという発想はなかったです。今回アンケートで気づかされました。 問16、23ですが…学校現場(教員)図書館の職員さん達の負担が大きくならないことを望みます。コロナ禍で市役所の皆様もそうですが、人員削減、一人の仕事量も増加で疲弊していることと思います。業務内容を精査して効率よく、また、少しでも仕事の負担が減らせるようにしてみませんか？新市長になり、対応に追われる毎日と思いますが、皆様ご無理なさいませぬように、市役所の皆様のおかげで私達は安心して日々の生活が送れています。コロナが落ち着き、一日も早くもとの生活が戻ればいいですね。</p>
<p>ご苦勞をおかけ致しますが、どうぞお身体を大切に下さって下さい。</p>
<p>頑張ってください。未来を楽しみにしております。</p>
<p>地域住民にとって非常に大切なことを真剣に考えて下さっていることが伝わってきて、ありがたく思います。</p>
<p>私が8年前に丸亀に引越してきた時より、とても住みやすい魅力的な街になったと思います。今後ともよろしく願います。</p>
<p>いつもありがとうございます。</p>